

令和 4 年度の改善方策に基づく改善結果について

- 1 「家庭学習におけるe-ラーニングの有効活用の更なる向上」について
- 2 「I C Tの活用による学習活動の充実に向けた指導の継続」について

- (1) 保護者アンケート「本校は、映像やタブレットなどのI C Tを利用し、わかりやすい授業をしている」に対する肯定的評価は、前年比10.3ポイント減の57.8%であった。しかし、「わからない」と答えている割合が前年比9.4ポイント増となっているという面もある。一方、生徒に対する同様のアンケート解答結果は、肯定的評価が全体で前年比1.2ポイント増の88%、特に1年生では肯定的評価が93.4%と高く、I C T活用による学習活動の充実には、成果が出ていると考えている。
- (2) タブレット端末の活用状況や実態に関するアンケート独自項目の回答では、保護者の肯定的評価62.4%に対して、生徒の肯定的評価87.8%と大きな開きがある。家庭での利用の仕方にはまだ課題があると考えられる。
定期考査前の朝学習としてe-ラーニングを活用するなど、利用の仕方は定着してきた。そして教科によっては、長期休業中の課題としてe-ラーニングを活用する内容を取り上げるなど、家庭学習におけるタブレット端末の活用を推進しているところである。今後とも校内での活用に加えて、家庭学習での取り組みも強化していきたい。

- 3 「コロナ禍の状況ではあるが、幅広く全学年に向けての情報提供」について

- (1) 情報提供に関する保護者アンケートは3項目あった。
 - ①「進路や将来の仕事」の肯定的評価は、1学年57.1%・2学年79.6%・3学年82.6%であった。特に2学年は、一昨年度58.3%・昨年度71.6%と年々肯定的評価が増加傾向にある。
 - ②紙ベースの情報提供に関しては、どの学年も肯定的評価が80%を超え、全体では85%であった。
 - ③昨年まではオンラインベースの情報提供に関する肯定的評価の方が低くなる傾向であったが、今年度は、1学年79.6%・2学年75.6%・3学年89.6%となり、1学年と3学年で肯定的評価が増加した。
- (2) キャリア学習として2年生で行ってる「職業Days」の取り組みが定着し、保護者への発信も多く行ったので、保護者アンケート「子どもの進路や将来のことを考える授業がある」に対する2学年の肯定的評価が前年比8ポイント増の79.6%となった。また、3年生進路説明会資料を1・2年生で希望する保護者に配布することもできた。保護者へのキャリア学習の浸透が進んだものとする。
- (3) 保護者アンケート「行事や学校公開期間における公開の在り方」に対する肯定的評価は、1学年75.5%・2学年83.7%・3学年76%と前年度より増加傾向にある。運動会の全日開催、若竹祭（合唱コンクール）の保護者参観再開、ダンス発表会の公開など直接生徒の様子を参観していただく機会を多くすることができた成果と考える。今年度はまだ保護者の参観人数を制限せざるを得ない状況であったが、来年度は制限の緩和を進めて、学校公開を一層進めていきたいと考えている。